



平成31年 東温市**消防出初式**が挙行されました。

日 ごとに暖かさを増し始めた3月3日、平成31年東温市消防出初式が挙行されました。あいにくの天候となり、中央公民館での開催となりましたが、集まった消防団員の皆さんの勇姿に心強さが感じられました。

加藤市長は、近年の災害時における、消防団員の迅速な対応と献身的な活動を労い、発生が懸念される南海トラフ地震などに対する防災・減災対策のため、「地域に根ざした防災体制の充実強化が必要」と述べました。

当日、消防活動にご尽力された方の表彰式が行われましたので、受賞者の皆さんをご紹介します。



平成31年 東温市消防出初式 表彰受賞者

- 消防庁長官表彰**
第4分団第4部団員 大西 幸藏
- 日本消防協会会長表彰**
本部 副団長 森 真和
- (功績章)**
本部 方面隊長 越智 博伸
- 第6分団分団長 近藤 和久
- (勤続章)**
第2分団分団長 八塚 俊明
- 第2部部長 和泉 祐二
- 第6分団第2部部長 近藤 浩二
- 第5分団第4部班長 渡部 宏治
- 第6分団第1部班長 近藤 浩一
- 第1分団第2部団員 大西 匡宏
- 第6分団第2部団員 近藤 隆吉
- 日本消防協会会長表彰**
(優良女性消防隊)
東温市女性消防隊 本部団員 山崎 三和
- 愛媛県知事表彰**
第4分団副分団長 大西 真蔵
- 第3分団第3部部長 野首 泰志
- 第6分団第3部部長 渡部 安正
- 本部長 白戸真由美
- 消防本部消防司令 和田 悟
- 愛媛県消防協会会長表彰**
(功績章)
第3分団分団長 岡田 文明
- 第4分団分団長 徳野 守
- 第2分団第3部団員 葛原 隆治
- 第4分団第2部団員 八木 俊幸
- 第5分団第2部団員 酒井 哲雄
- (勤続章)**
第2分団第4部班長 東村 知重
- 第5部班長 島本 誠
- 第4分団第1部班長 東 功亮
- 第2分団第1部団員 井門 清隆
- 第1部団員 渡部 良正
- 第3部団員 大西 強
- 第3部団員 江崎 寿紀
- 第4部団員 明賀 良和
- 第6部団員 相原 重鎮
- 第7部団員 由井 良雄
- 第7部団員 川本 旭
- 第3分団第2部団員 高須賀 聡
- 第3分団第3部団員 青井 啓
- 第4分団第1部団員 奥村 政喜
- 第2部団員 大堀 純
- 第2部団員 菅野浩太郎
- 第3部団員 菅 貴之
- 第5分団第2部団員 八木 慎也
- 第2部団員 水口 秀樹
- 第6分団第1部団員 日野 友樹
- 第1部団員 谷河 竜一

- 第3分団第2部団員 小山 憲二
- 第4分団第1部団員 浅野 和矢
- 第1部団員 梅崎 博之
- 第5分団第3部団員 谷口 数彦
- 第3部団員 佐伯 真司
- 第6分団第2部団員 中島 芳彦
- 第6分団第1部班長 日野 厚志
- 本部団員 日野 博美
- (親子団員)**
第5分団第1部部長 菅野 逸志
- 第1部団員 菅野 亮
- (家族内助の功労)**
第1分団分団長 國安 計祐の妻 ゆかり

- (優良団体)**
拝志保育所幼年消防クラブ
- 東温市長表彰**
本部女性班団員 二神 幸
- 第1分団第1部団員 渡部 敦志
- 第5部団員 井上 真一
- 第2分団第6部団員 門屋 剛史
- 第6部団員 安井 章智
- 第7部団員 大北 豪
- 第3分団第1部団員 藤原 直
- 第2部団員 森 晃一
- 第2部団員 丹生谷尚慶
- 第2部団員 野中 達矢
- 第3部団員 岩田桂太郎

- 纏会長表彰**
東温市女性消防隊

災害が発生した時は迅速な行動が必要です。市民が一丸となって「自助・共助」を推進していきましょ。

支え合おう。 多様な生き方

母と子供、
地域の一員として



大塚 早紀さん(田窪)

ワークライフバランスとは、「仕事」と「仕事以外の生活」のバランスを取り、両方を充実させる働き方・生き方です。望ましいバランスは人によって違いがあり、実現には社会全体の意識改革と支えが必要です。
仕事、子育て、地域活動に取り組む2組の家族を取材しました。

変える。
働き方のカタチ



水田 友美さん(志津川南)



自分自身が楽しみながら
地域の役にも立ちたい

平成19年2月に消防団に入団し、12年間活動している大塚早紀さん。「女性消防団員は火災や捜索などには出動せず、応急手当普及員の資格を取得し、救命講習の手伝いや、救急啓発イベントの広報活動などを行っています。現在は、幼稚園で生活支援員として勤務しながら両立しています。出産のため活動できなかった期間もありましたが、団員の方と家族の支えのおかげで今でも続けられています」と話します。

呼びかけを続けることで輪を広げたいです。女性が活動服や制服を着ている姿を見てもらうことが、少しでもアピールになり、興味を持つきっかけとなれば嬉しいです。家族に何かあった時、動じず家族のため、自分のため、少しでも役に立てたら。その思いが大塚さんの原動力になっています。

東温市女性消防団員の皆さん。働いている人、主婦の人などがさまざまですが、皆さんが積極的に活動を続けています。団員同士の支え合いが強く、イベントや啓発活動を協力して行っています。

東温市消防本部
☎ 964-5210

地域で活躍する女性を増やしたい
「女性消防団員を増やすために団員内で悩み、話し合いも重ねました。消防団員の加入促進は地域の課題でもあり、



大切にしたい
働く時間・家族との時間
「4月から所定労働時間も短縮されることになりました。義務である年間5日の有



2/26に(株)ヒカリで幹部職員を対象として開催されたワークライフバランス推進研修。「責任者が出席することで自分たちが考えない状況であることを認識する良い機会になりました」との声が聞かれました。

プライベートの充実を
応援してくれる職場環境

株式会社ヒカリで育児制度を利用し、子育て中の水田友美さんは、平成16年4月に入社し、社会保険業務や社内報の発行、受付等を経験。「産休のことを伝えた時も嫌な顔一つせず祝福してくれました」。そんな水田さんに会社での支援制度を紹介していただきました。隔週火曜日に希望者は、勤務時間内に30分程度のマッサージュが受けられます。リフレッシュでき、作業効率も上がったように思います。社員5人以上での親睦会に一人3,000円を支給する制度や、マラソングッズの購入を年間1万円までサポートするユニークな制度があります。今年の愛媛マラソンには35人が参加したそうです。仕事以外の時間でも交流が増え、人間関係も良好です。

給休暇取得のうち3日は連続取得が奨励されていることもあり、復帰後は、余暇時間を利用して、家族でいろいろな場所に出掛けて家族の時間を増やしていきたいです。会社が社員のプライベートの充実も気にかけてくれているので、家族との時間を大切にしながら働くことができていることに助かります」

少子・高齢化の進行に伴う人口減少社会に突入し、2010年と比較すると、2040年には愛媛県の生産年齢人口は約30万人減少するといわれています。現役世代の減少に比例して、子育て・介護など時間的制約を持つ人はますます増加していくことでしょう。
男女が対等に地域活動に取り組むことは、性別による固定的な役割分担意識のない住みやすい地域をつくり、企業が働き方改革に取り組むことには、有能な人材の確保になり、「明日への投資」につながります。
仕事と同じように、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かせないものです。充実感を感じながら働き、家庭や地域生活でも、ライフステージに応じた多様な生き方が選択・実現できる社会づくりに、一人ひとりが取り組んでいきましょう。